

事業報告

第6分科会

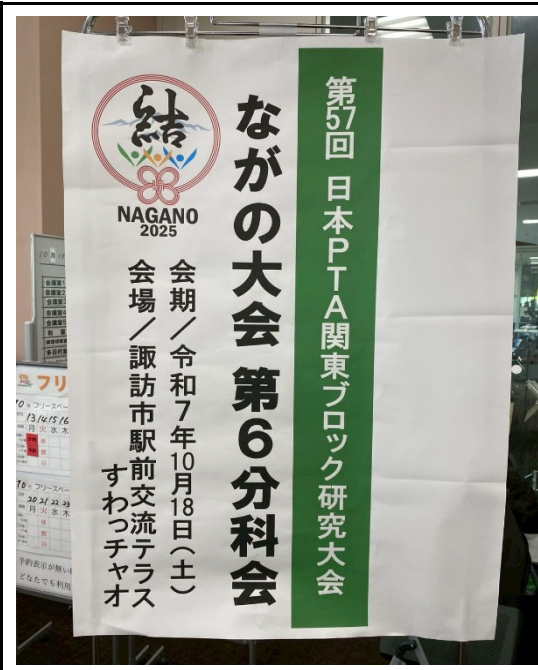
広報・IT

テーマ	学校での大人同士のコミュニケーション		
趣旨	学校での大人同士(先生と保護者、保護者同士)のより豊かなコミュニケーションのあり方の提案。広報活動は伝えたい「何か」があるから行うのであって、その伝えるべき「何」についての考察。Canvaを使用した、見やすく伝わりやすく低コストの広報活動。先生のクラスづくりを保護者が理解し、そこに子どもと共に参加し、相互理解を通じてワークショップで作る「クラス広報紙の種」。		
会場	すわっチャオ	運営担当	諏訪地区、上伊那地区
参加人数	109人	子ども参加者数	11人
担当副実行委員長	牧内 高	運営委員長	樋川善史

分科会総括

保護者だけではなく、多くの子ども達(11名)、先生方(22名)にもご参加いただきました。川崎市立川崎小学校の、積極的に地域に出でいき、たくさんの寄付(1000万円)を集めて校庭に新たな遊具を設置したという活動の報告。Canvaを利用した、見やすく洗練されたデザインでオンライン配信によって行われている諏訪地区PTA連合会の広報活動の実践発表。保護者が学校やクラスづくりにどのように関わっていけるか、またどのように関わってほしいか、保護者と先生の対談。後半は、先生、子ども、保護者が一緒になって「こんなクラスになったらいいな」というテーマでワークショップ。クラスづくりに保護者も関わっていくという状況を想定し、グループトークで出たアイデアを模造紙にまとめ、それがクラス広報紙の種になる、という疑似体験。クラスという場で先生と保護者、保護者同士が繋がっていく(『結』)ための、一つの試みでした。先生方の参加を募るにあたり、役員がCanvaで作ったチラシを持って各学校を回り、先生方に直接分科会の宣伝をし、これがまさに「広報活動」であって、結果、目標としていた数の先生にご参加いただきました。後日、ご参加いただいた先生方を役員が直接訪問してお礼を述べ、縁をつないでいきます(これも、先生と保護者のコミュニケーション)。今回の分科会を踏まえて、諏訪地区PTA連合会では、先生と保護者とのより良い関係を目指していく実践を進めています(12月6日の会長会)。

会場受付の写真



会場の写真



研究発表(川崎市立川崎小学校父母と先生の会)の写真 諏訪地区PTA連合会広報活動発表の写真



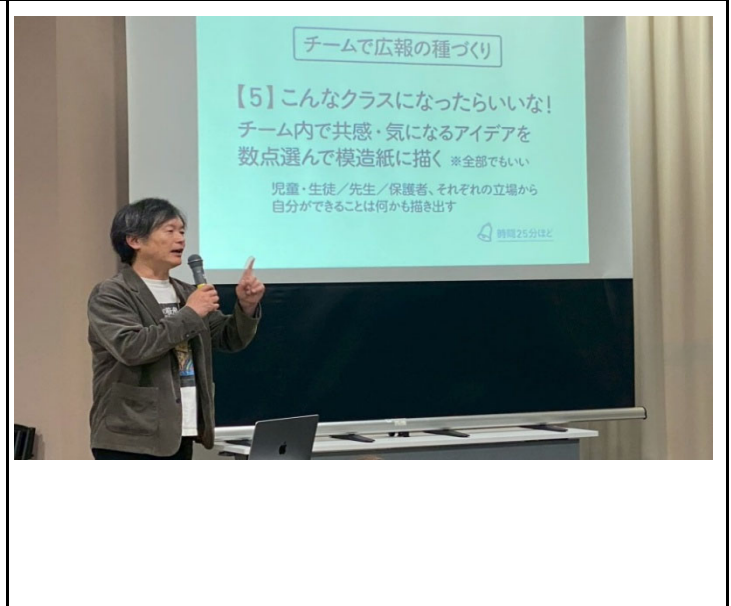
ワークショップの写真



ワークショップの写真



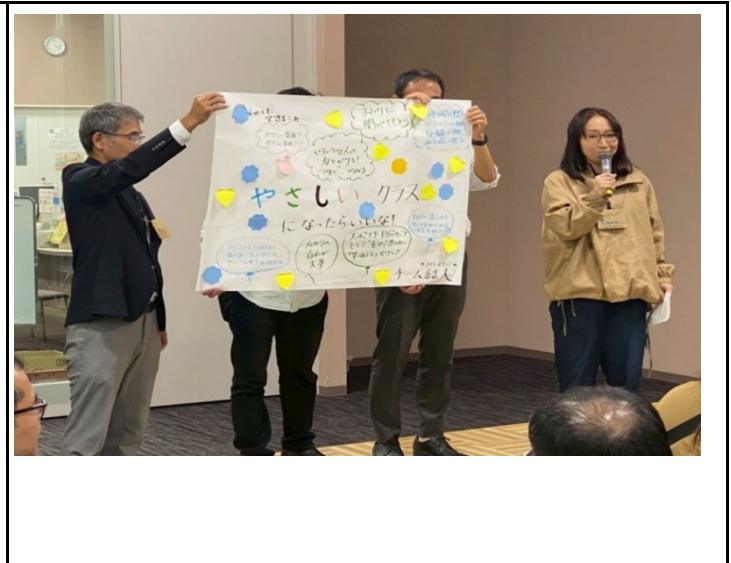
ワークショップの写真



ワークショップの写真



ワークショップの写真



ワークショップの写真